

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 088	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 沖縄ミニトウガン こっこ(フタバ種苗)の栽培方法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 JAかながわ西湘では第2次地域農業振興計画に基づき、ミニトウガンを新規導入作物と位置づけ、共販集荷量50tに向けた生産拡大に取り組んでいる。 ミニトウガン(こっこ)について下記、試験研究をお願いしたい。 ① 開花から収穫までの日数の違いが品質への及ぼす影響 ② 1a面積あたりの適正な植付け苗の本数 ③ 9~11月出荷用 栽培体系の確立 ④ 果重1.1kg~1.5kgの生産方法	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	地産地消を加速する品種の選定		
対応の内容等	当部では、地産地消に適した新品種の導入を目指し、表記課題において野菜類の特性検定試験に継続して取り組んでいます。トウガンについても、消費動向にマッチし、直売品目としても有望となる小型のトウガン品種について、特性検定試験の一環として取り組んでいます。試験結果が出ましたら報告していきます。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内		
備考			